



## ThingWorx SaaS サービス記述書

---

PTC の ThingWorx SaaS オファリングの使用には、[SaaS 基本契約](#)（以下「本契約」といいます）の諸条件のほか、以下の追加の諸条件が適用されます。以下に定義されていない大文字の用語は、本契約で定義されている意味を有します。ThingWorx SaaS オファリングには、ThingWorx SCP SaaS プラットフォームサービス及び ThingWorx SCO ソリューション SaaS プラットフォームサービスの 2 種類があります。

### バージョンサポート

本サービスには、PTC が本サービスへの適用を選択決定したニューリリース及び更新リリースのインストールが含まれます。お客様は、ニューリリース／更新リリースとの互換性を確保するため、カスタマイズ及び／又は統合を更新する責任を負うものとします。

PTC は、プラットフォーム全体にわたってサポートされるソフトウェア・リリースをお客様に維持させる権利を有します。また、プラットフォームに対して更新をインストールし、一般的な保守を行う権利を有します。

お客様は、少なくとも年 2 回、現行メジャーバージョン内（例：バージョン 10.0.0 から 10.0.1 へ）の最新メンテナンスリリースへのアップグレードを実施する必要があります。この要件により、PTC は適切なセキュリティ態勢を維持し、第三者ベンダーの要件に従いサポート対象バージョンを維持しなければならないインフラストラクチャレベルのコンポーネントをアップグレードすることが可能となります。

お客様が現在サポートされているメジャーバージョンのソフトウェアを使用していない場合、PTC は、(i) 本サービスを終了するか、又は、(ii) お客様がサポート対象外のメジャーバージョンを使用し続けている期間中、本サービスの提供月ごとに、年間契約額の 30% を上限とする追加料金を請求することができるものとします。

### サービスデータのエクスポートの終了

本サービス終了日が了知された後、お客様は、(1) 本サービス終了日に先立って、お客様の新システムへのデータ入力をテストする目的でのエクスポート、(2) 本サービス終了日の最終エクスポートという最大 2 回のデータエクスポートを要求できます。お客様は、当該要求が実行できるように PTC と調整するものとします。データのエクスポートには、現状のソフトウェアコンフィグレーションを別の環境に再展開する上で必要な情報が含まれます。各オファリングで使用できるファイルの形式については、以下のオファリング固有の項で規定します。

上で規定しているものを除き、データのエクスポート及びスナップショット（お客様が長期保管を必要としている場合など）は、標準の PTC オファリングの構成要素としては提供されません。ただし、お客様は、追加料金を支払うことにより、標準では提供されないデータのエクスポートについて PTC と契約することができます。

PTC は、お客様のデータを最後の抽出時から約 30 日間保持します。この期間を過ぎたデータは破棄されます。この 30 日間の期間中は、アーカイブされたデータの複製 1 つをお客様からの要請に応じて提供できます。

データのエキスポートには、サービスコンフィグレーションやデータなどの該当する項目が含まれます。以下の 2 つの形式でデータをエキスポートできます。

- ThingWorx のエキスポート機能ですべてのエンティティをエキスポートし、XML ファイル及び JSON ファイルで提供
- 各データベースの標準エキスポート形式に準拠してデータベースをエキスポート

また、ThingWorx のストレージリポジトリにあるファイルは ZIP 形式で提供されます。

## バックアップ及び災害復旧

PTC は、事業継続及び災害復旧のベストプラクティスをサポートするため、包括的なデータバックアップ・ポリシーを維持しています。システムの完全バックアップは毎日行われ、地理的に冗長な (Geo 冗長) 場所に保管されます。本番システムのバックアップは 30 日間維持されます。非本番用バックアップは 7 日間維持されます。

大規模なサービス停止が発生した場合、PTC は影響を受ける顧客と協力して、災害復旧プロトコルを実施すべきかどうかを判断します。必要な場合、本番システムの復旧時点目標 (RPO) は 24 時間、復旧時点目標 (RTO) は 5 日間とします。非本番用システムは、すべての本番用システムが完全に復旧した後、可能な限り迅速に復元されます。

## セキュリティ及びデータプライバシー

本サービスのセキュリティプログラムに関する情報は、[PTC トラストセンター](#)に掲載されています。

本サービスの一部として収集されるデータに関する情報は、<https://www.ptc.com/en/documents/policies>にあります。

**バッチ**：ユーザー権限に基づく、又はユーザー権限を含むサービスタイプ（登録ユーザーや同時ユーザーなど）の場合、ライセンスは、当該許諾製品若しくはそこに含まれている機能又はデータへのアクセス（直接的であるか、又はウェブポータルを通じて、又は許諾製品若しくはそのデータを「バッチ」し、その他それらへの間接的アクセスを実現する他の機構を通じてであるかを問いません）をする個人ごとに必要となります。共通又は共用のログインは、認められません。お客様が本サービス記述書で定義される「IoT Streams」製品を購入した場合、上記の規定は、お客様が IoT Streams を使用して Asset データをお客様の他のコンピューターシステムに公開する権利を制限するものではありません。本契約又は本サービス記述書の規定にかかわらず、View-Only ライセンスでは、お客様が ThingWorx プラットフォーム外でデータにアクセスし、これを利用することは許可されません。

## 「インスタンス」

「インスタンス」とは、単一のアプリケーションの展開を指し、統一された構成で動作する 1 つ以上のアプリケーションサーバーで構成され、すべて物理的に同一サイトに配置され、共有データベースに接続されているものを意味します。この構成は、お客様が使用する単一環境をサポートすることを目的としています。

# ThingWorx SCP SaaS Platform Service

---

## はじめに

このオフリングは、お客様による ThingWorx SCP SaaS Platform Service サブスクリプションの契約期間中、お客様のオフリングを接続すること及び IoT アプリケーションをビルドして実行することを目的として、ThingWorx SCP SaaS Platform Service にアクセスし、使用するための、非独占的かつ譲渡不能であり限定的な権利及びライセンスをお客様に付与するものです。ThingWorx SCP SaaS Platform Service は、お客様のオペレーションを遠隔で管理する目的には使用できません。

## ソリューションのスコープ

ThingWorx SCP SaaS Platform は、別途購入可能なオプションサービスが付属している標準サービスパッケージとして入手できます。

すべての ThingWorx SCP SaaS Service に、以下の事項が含まれます。

- ThingWorx SCP SaaS エディション (Premium、Enterprise) 又は Machine Builder Bundle
- 各エディションについて規定されている登録ユーザー及び Asset
- Kepware 又はサポートされているその他の Edge Agent テクノロジーへの接続機能
- PTC Hosted Global Access Server (GAS) ネットワークによる、対応デバイスでのリモートアクセス&コントロール (RAC) の利用
- 単一の専用の本番用のインスタンス
- 環境ごとに規定されるストレージ割り当て

## オフリングに関する基本事項

ThingWorx SCP SaaS Platform には、Premium Edition、Enterprise Edition、ThingWorx Machine Builder Bundle という複数の「エディション」があります。ThingWorx SCP SaaS Platform の各エディションには、ライセンスプロファイルで規定される所定の数の SCP 登録ユーザー、Asset、及び ThingWorx SCP SaaS Platform のエディション固有の機能が含まれます。ThingWorx SCP SaaS Platform は、お客様の物理的な施設又はお客様の指定するホスティングプロバイダーにインストールすることはできません。ThingWorx SCP SaaS Platform の各エディションには、「ThingWorx エージェント」又は「Edge Microservers」及びお客様のランタイムアプリケーションへの接続機能を追加するためお客様が使用する ThingWorx SDK が含まれています。ThingWorx エージェント、Edge Microservers、及び ThingWorx SDK を使用して作成されるお客様のアプリケーションについては、数は無制限であり、コネクティッドオフリングを使用して分散させることができますが、ThingWorx オフリングとのみ使用できます。ThingWorx エージェント及び Edge Microservers はサービスのコンポーネントではなく、お客様が直接維持します。

- ThingWorx SCP SaaS Platform の本番用のインスタンスは、Asset や登録ユーザーなど、お客様固有の使用権に基づいてサイズが決定されます。システムはきわめてセキュアな運用モードをサポートし、PTC の SLA における確約事項に準拠するバックアップオプション及び復元オプションに対応するよう設計されています。PTC は、本番用のインスタンスの適切なパフォーマンスを確保するため、パフォーマンス、セキュリティ、及びスケーラビリティに関する懸念事項がお客様の実装環境に存在しないかどうかを確認する権利を留保します。お客様の実装環境の使用率が、お客様のシステムのパフォーマンスに悪影響を及ぼすほどの過大な状況にある場合、追加料金が生じることがあります。
- ThingWorx GAS ネットワークノード (サーバー) の集合であり、サービス技術者が実行するリモート診断セッションのランデブーポイントとして機能します。リモートセッションは、遠隔にあるアセットから GAS ノードを経由して技術者

の PC にルーティングされます。これらのサーバーとルーティングは、メインの IoT サーバーからのトラフィックをオフロードし、セッションの待ち時間を短縮し、データ主権要件への準拠を支援します。

- お客様は、遠隔 Asset のすべての設定及びメンテナンスに責任を負います。PTC は、エッジ上のいかなるデバイスにもサポートを提供しません。
- お客様は、接続されるすべてのアセットについて、少なくとも TLS 1.2 に相当する SSL セキュリティレベルで通信する状態を維持しなければなりません。
  - アセットが規定のレベルに達していない場合、資産をサービスに接続するには、書面による PTC の承諾を得る必要があります。
  - PTC は、セキュリティレベルの最小要件を満たしていない通信を切断又はブロックする権利を留保します。
  - PTC は、アセットが接続する可能性のある最小セキュリティ SSL TLS レベルを上げる権利を留保します。
- サービスに含まれる以下の事項については、お客様が許容量を超えた場合、見積書／製品スケジュールで定義される超過料金をお支払いいただきます。
  - Assets
  - 登録ユーザー
  - データ／ストレージ

ThingWorx SCP SaaS Platform には、標準で以下の使用権が含まれます。

	Premium	Enterprise
Assets (同梱)	50	100
SCP 登録ユーザー (同梱)	5	5
SCP View-Only ユーザー	同梱	同梱
ThingWorx Foundation	同梱	同梱
ThingWorx Analytics (1)	入手不能	16 コア同梱
ソフトウェアコンテンツ管理	入手不能	同梱
Technical Support	Gold+	

- (1) お客様は、同梱されている ThingWorx Analytics コアのコンピューティング容量を超過した場合、演算機能を提供する任意のインスタンスの実行コンポーネント用に、追加のコンピューティング容量を提供する追加コアの使用権を購入できます。

PTC は ThingWorx SCP Professional Edition の販売を終了しましたが、既存の Professional Edition のライセンス権を保有するお客様の場合は、以下のライセンス権が含まれます。

	Professional
Assets (同梱)	75
SCP 登録ユーザー (同梱)	5
SCPView-Only ユーザー	同梱
ThingWorx Foundation	同梱
ThingWorx Analytics (1)	8 コア同梱
ソフトウェアコンテンツ管理	入手不能

「SCP 登録ユーザー」(IoT)とは、サービスを使用してマッシュアップ、アプリケーション及び/又はダッシュボードを開発する権限をシステム管理者から付与された個人による使用のために、ThingWorx Platform に直接又は中間アプリケーションを経由したアクセスを可能にするためのログイン ID をいいます。この使用許諾基準は登録ユーザーの使用許諾基準の一種です。ユーザーは、個人を基準として数えるものとし、同時使用を基準としません。

「View-Only SCP Users」とは、サービスを使用し、ThingWorx Platform からアウトプットを消費するためだけに権限を付与されたユーザーをいいます。当該ユーザーは、マッシュアップ、アプリケーション若しくはダッシュボードを開発又は修正する権限を付与されず、また、開発又は修正してはなりません。View-Only SCP User は ThingWorx プラットフォーム内のデータにアクセスするためのログイン権限を持ちます。View-Only SCP User は制限されず、ThingWorx SCP Platform に含まれます。

「ThingWorx Analytics」は、モノのインターネットのための機械学習機能及び他の分析サービスを可能にします。ThingWorx Analytics は、ThingWorx SCO Platform Enterprise Edition とのみ連携して使用することが許諾されます。ThingWorx Analytics はコア毎に使用許諾されます。

上表に示される分析計算機能を実行するあらゆるインストール済みのコンポーネントには、各物理的又は仮想の CPU コア毎に ThingWorx Analytics のコア毎のライセンスが必要です。お客様が ThingWorx Analytics の付属のコアの計算能力を超えた場合、お客様は、計算機能を提供するインスタンスにより実行するコンポーネントの追加の計算容量のための追加のコアライセンスを購入することができます。

「Asset」(IoT) (製品自体又はその他の部分において「デバイス」、「モノ」又は「遠隔装置」と呼ばれる場合もある)とは、感知装置(センサー)、装置(デバイス)、機械、システム、ウェブサービスなどであって、資産(又はサービス内において「デバイス」又は「モノ」)としてモデル化(表現)及び/又は登録されるもの、又はソフトウェア内で別の資産として取り扱われる場合には、前述の一部として別に定義されるものを意味します。例えば、Asset は、プレスブレーキ、工業用乾燥機、別のコンピューターシステム、又は、それらの機械の中にある個々の部品がソフトウェア内で別の資産としてモデル化又は登録される場合がありますが、これらに限定されません。Asset には、下記の表に記載された権利が含まれます。

Simple Narrow Band Asset (簡易型ナローバンド Asset) (NB)とは、業界標準の低出力ワイドエリアネットワーク(LPWAN)又は5Gネットワークで運用される Asset クラスであり、ThingWorx から Asset へのリモートアクセス不能、Software Content Management (SCM)機能がない、ファイル転送機能がない、といった制限があります。さらに、この Asset のクラスには、未接続の資産も含まれます。この Asset のクラスには、オフラインで作成され、物理的または仮想的な資産を表すものの、その資産とは何ら接続されていない資産が含まれます。オフラインにおいて仮想的に表示されるだけです。

「Business Critical Asset」とは、下表に定める権利を含む Asset のクラスを指します。「Business Critical」Asset のティアでは、SCP のインスタンスに接続されるすべての Asset は Business Critical Asset でなければなりません。お客様は、Business Critical Asset を接続したインスタンスに、Simple Narrow Band Asset 及び/又は Standard Asset を接続することはできません。下表に記載された Service Availability は、PTC SaaS サービスレベル契約に規定された標準的な Service Availability パーセンテージに優先します。本契約において Service Availability に関して明示的に変更される規定を除き、PTC SaaS サービスレベル契約のその他のすべての条項、定義、及び規定は、引き続き完全に効力を有します。

機能	Simple Narrow Band Asset	Standard (Asset)	Business Critical Assets
Service Availability	99.5%	99.5%	99.9%
ThingWorx High Availability (1)	同梱なし	同梱なし	同梱

<b>ThingWorx IoT Streams (2)</b>	同梱なし	同梱なし	1 秒あたり 1 Asset の書き込みを含む
<b>InfluxDB (3)</b>	同梱なし	同梱なし	1 秒あたり 1 Asset の書き込みを含む

- (1) 「ThingWorx High Availability」：お客様の本番環境及び非本番環境の ThingWorx アプリケーションサーバーインスタンスをアクティブ-アクティブなクラスタリングで構成する権利を付与します。
- (2) 「ThingWorx IoT Streams」：お客様が ThingWorx プラットフォームから、コールドストレージ、データレイク、ビジネスインテリジェンス (BI) ツール、その他の第三者データリポジトリなどの外部システムへデータをストリーミングすることを可能にします。この機能は、分析、コンプライアンス、長期保存といったユースケース向けに、スケーラブルなクラウドネイティブのデータオフロードをサポートします。また、本機能は ThingWorx プラットフォームからのデータストリーミング機能を提供します。ストリーミングされたデータを受信、処理、又は第三者システムに保存するために必要な追加のソフトウェア、ミドルウェア、又はサービスは、すべてお客様の責任となります。IoT Streams は、Business Critical Asset ごとに使用許諾されます。ライセンスを取得した各 Business Critical Asset は、最大 1 Write Per Second (1 秒あたりの書き込み操作数) のストリーミング権を有します。ここで「Write Per Second」とは、ThingWorx プラットフォームから IoT Streams へ単一のデータプロパティが送信される 1 回の書き込み操作を意味します。この権利はすべての Business Critical Asset でプールされ、1 か月間の平均値として算出されます。つまり、各 Asset あたりの書き込み総数は、バースト活動やデータ転送速度の変動に対応するため、月間平均値として計算されます。

#### グローバル書き込み上限：

ライセンス対象の全 Business Critical Asset における Write Per Second の総数は、40,000 Write Per Second に制限されます。お客様がこの上限を超過した場合、指定の追加ライセンスを通じて追加容量を購入する必要があります。例えば、お客様が 100,000 のライセンス付き Business Critical Asset を保有しているが、40,000 Write Per Second のみ含まれる場合、お客様はすべての Business Critical Asset の Write Per Second を最大限に活用するために追加容量を購入しなければなりません。

#### コンシューマーの使用権 (Consumer Entitlement)：

各 SCP IoT Streams SaaS ライセンスには、同時に 3 つのコンシューマーを利用する権利が含まれます。「コンシューマー」とは、ThingWorx プラットフォームからストリーミングデータを受信する第三者システム又はエンドポイントを指します。例としては、コールドストレージシステム、データレイク、BI プラットフォーム、その他の外部リポジトリなどが挙げられます。追加のコンシューマーは別途購入可能です。

#### Durable Queues：

お客様は、IoT Streams SaaS ライセンスの一部として、Durable Queues 機能を利用できます。Durable Queues は、ファイルベースのキューイング機構を介して、エッジデバイスからのデータを ThingWorx プラットフォームへ耐障害性のある方法で取り込むことを可能にします。Durable Queues を通じて処理されるデータはすべて、お客様の Write Per Second 総数にカウントされます。

#### 制限事項：

- 各 Asset は、データをストリーミングするために有効な IoT Streams ライセンスを保有している必要があります。
- Write Per Second の数は、Asset ごとの月間平均として計算されます。

- 追加ライセンスなしでは、全アセットの合計 Write Per Second がグローバル書き込み上限を超えてはなりません。
- コンシューマーは3つまで含まれます。追加のエンドポイントには別途ライセンスが必要です。
- Durable Queues の使用は、Write Per Second の総使用量に算入されます。

(3) 「InfluxDB」：接続された Asset からの時系列データを、ThingWorx SaaS 環境の一部として管理される InfluxDB インスタンスに保存することを可能にします。この機能は、分析、監視、及び履歴分析のための高解像度データ保存をサポートします。Influx データベースとは、ThingWorx SaaS 環境内でプロビジョニングされる論理的な時系列データベースインスタンスであり、接続されたビジネスクリティカルな Asset からのタイムスタンプ付きデータの保存に最適化されています。各データベースは PTC によって管理され、ThingWorx プラットフォームと統合されており、時系列データのシームレスな取り込みと取得を実現します。

InfluxDB は Business Critical Asset ごとに使用許諾されます。使用許諾された各 Business Critical Asset には、1 Write Per Second (1 秒あたりの書き込み操作数) が許可されます。ここで「Write Per Second」とは、ThingWorx プラットフォームから InfluxDB インスタンスへ単一データプロパティが送信される1回の書き込み操作を意味します。この許可量は全 Business Critical Asset でプールされ、1 か月間の平均値として計算されます。これにより、データ送信における変動やバースト活動に対応可能です。

グローバル書き込み上限：

ライセンス対象の全 Business Critical Asset における Write Per Second の総数は、40,000 Write Per Second のに制限されます。お客様がこの上限を超過した場合、指定の追加ライセンスを通じて追加容量を購入する必要があります。例えば、お客様が 100,000 のライセンス付き Business Critical Asset を保有しているが、40,000 Write Per Second ののみ含まれる場合、お客様はすべての Business Critical Asset の書き込み処理能力を最大限に活用するために追加容量を購入しなければなりません。

ストレージの権利：

InfluxDB が使用するストレージは、下記に定める SCP ライセンスの該当データストレージセクションに規定される通り、ThingWorx SCP SaaS データストレージの全体的な使用許諾に含まれます。InfluxDB に対して別途のデータストレージ使用許諾は提供されません。

制限事項：

- 各 Asset は、データを保存するために有効な InfluxDB ライセンスを保有する必要があります。
- Write Per Second の数は、Business Critical Asset ごとの月間平均として計算されます。
- 追加ライセンスなしでは、全 Business Critical Asset の合計 Write Per Second 数がグローバル書き込み上限を超えてはなりません。
- InfluxDB ストレージは、お客様の SCP SaaS ストレージ総利用枠に算入されます。
- InfluxDB は PTC によってプロビジョニング及び管理され、お客様への直接的な管理アクセスは提供されません。

前項にかかわらず、お客様が 2026 年 1 月 5 日より前に別途購入した Influx Database (InfluxDB) に対する既存の権利を有する場合、当該購入日に有効であった本サービス説明書の旧バージョンが当該権利に適用されます。

## 全オフラインに対するアドオン

追加のインスタンス – 非本番用

追加の非本番用（開発、品質保証及び統合）のインスタンスは、別途購入できます。これらのインスタンスについては、Asset 又は登録ユーザーの数に制限はありませんが、機能の開発及びテストをサポートするために設計されています。ロード及びパフォーマンステストは含まれていません。追加のパフォーマンスが必要な場合は、PTC の営業担当者にお問い合わせください。

## 追加のデータベース

お客様は、別途購入することで本番及び非本番のデータベースを利用できます。お客様は、テスト及び妥当性確認のための非本番環境を確保するには、それぞれ（本番環境と非本番環境）のデータベースを少なくとも 1 つ購入する必要があります。サイジング（CPU コアによって定義）とストレージは、見積書／製品スケジュールに規定されます。構成されたデータベースは、一般契約条件に規定された条件に基づくものとし、本番用の個別の SLA はありません。お客様の実装において、お客様のシステムのパフォーマンスに悪影響を与える異例の使用方法は、追加料金がかかる場合があります。

## ThingWorx Kepware Edge for SaaS

ThingWorx Kepware Edge for SaaS オファリングは、指定コンピューターごとにライセンスが必要であること、及び商品説明に付加される指定の数のタグにのみ使用されることを前提として販売されます（一般に、1 つのタグは 1 つのデータ項目に相当）。指定コンピューターオファリングは、インストール先の指定コンピューターでのみ運用することを目的として使用許諾されます。ThingWorx Kepware Edge for SaaS のコンポーネント及び機能は、ThingWorx Machine Builder Service Bundle に含まれている ThingWorx SCP SaaS Platform Service に接続するためにのみ使用できます。

## コンフィグレーション

お客様は、オファリングの OS 又はサーバーレベルのアクセスはできません。すべてコンフィグレーション及びカスタマイズは、ThingWorx の公式コンフィグレーション及びカスタマイズオプション（Composer、ロードエクステンション、Solution Central）を介して実現する必要があります。

## データ及びデバイス

### データストレージの権利

お客様には、サブスクリプションを購入した ThingWorx のエディションに基づいて、本項で詳述するさまざまなレベルのストレージの使用権が付与されます。また、1 GB 単位で追加ストレージを購入できます。お客様が使用権を付与されるストレージは全量が ThingWorx 本番環境用であり、ThingWorx ファイルシステム及び ThingWorx データベースの両方（別途規定のない限り、すべての ThingWorx コンポーネントが含まれます）に存在するお客様のすべてのデータのストレージ総量によって決まります。

以下の表に、すべてのストレージ使用権の詳細を示します。

ThingWorx のエディション	基本ストレージ	追加のストレージ使用権
ThingWorx SCP Premium SaaS	100GB	追加購入の Business Critical Asset あたり 0.15 GB 追加購入の標準 Asset あたり 0.1 GB 追加購入の NB-IoT Asset あたり 0.0045 GB
ThingWorx SCP Enterprise SaaS	100GB	追加購入の Business Critical Asset あたり 0.15 GB 追加購入の標準 Asset あたり 0.1 GB

		追加購入の NB-IoT Asset あたり 0.0045 GB
<b>ThingWorx Machine Builder Bundles (all)</b>	100GB	追加購入の標準 Asset あたり 0.1 GB 追加購入の NB-IoT Asset あたり 0.0045 GB
<b>ThingWorx の非本番環境</b>	100GB	なし

例：

ThingWorx SCP Enterprise SaaS 及び追加の標準アセットを 100 購入した場合：

本番環境におけるお客様の使用権： $100 \text{ GB} + (100 \times 0.1) = 110 \text{ GB}$  のストレージ総容量

## ThingWorx SCO Solutions SaaS Platform Service

### はじめに

ThingWorx SCO モデルでは、お客様の製品の製造に関連した、お客様の社内の生産システムプロセス及びオペレーションなどに接続して、それをモニタリングするための IoT Platform が使用許諾されます。SCO ソリューションにはいくつかのモデルがあり、Site 単位で販売され、さらに SCO 登録ユーザーも含まれます。各モデルには「ThingWorx エージェント」又は「Edge Microservers」及びアプリケーションへの接続を追加するためにお客様が使用する ThingWorx SDK が含まれます。

### SCO Solutions モデル

#### SCO Solutions モデルに適用可能な定義

- 「Custom Application」（カスタムアプリケーション）は、(i) PTC が提供する標準アプリケーションのカスタマイズ、又は (ii) PTC によって作成されないソフトウェアアプリケーションであり、お客様のニーズと要件に対応しながらエンドユーザー向けにビジネスの使用事例として構築されたものをいいます。Custom Application は、ThingWorx プラットフォーム技術を使用して開発され、バックエンドコンポーネント、サービス、及びマッシュアップの組み合わせにより構成されます。
- 「SCO 登録ユーザー」とは、ThingWorx Platform に直接アクセスするか、又は PTC、お客様、又はパートナーがプラットフォーム上で開発した中間アプリケーションを経由してアクセスする人をいいます。ThingWorx Platform 又は中間アプリケーションを表示又はアクセスするすべてのユーザーは、ログイン ID が一意のユーザーに関連付けられているか、アクセスするデバイスに対して汎用的であるかに拘わらず、登録ユーザーライセンスが必要となります。
- 「SCO Connected User」とは、SCO アプリケーション内の作業指示書及び関連データ（文書又は図面）を閲覧する目的で Windchill に対してビューのみのアクセス権を持つ登録ユーザーをいいます。このライセンスは、Windchill の一般的なビューアクセスや ThingWorx Navigate View アプリのインストール及び使用権限をユーザーに付与するものではありません。
- 「Site（サイト）」とは、ソフトウェアが使用される単一の顧客の建物又は接続された一連の建物を意味します。接続された建物の場合、業務自体又は材料のプロセスフローの間に物理的な障壁がないことが必要です。

SCO Solution Standard Model (SCO ソリューションスタンダードモデル) - SCO Solution Standard Model では、お客様は、AMU や CWC、DPM、RTPPM などの ThingWorx を基盤として構築されたアプリケーションを使用でき、アプリケーションが展開される各 Site ごとに料金が発生します。お客様は、ThingWorx SCO Solutions Standard Model を使用して Custom Application を開発することはできません。お客様は、SCO Solution Standard Model において、これらの out-of-the-box (既製) アプリケーション (ソリューション) に付属するマッシュアップを編集することができますが、(直接又は既存のマッシュアップを過度に編集することによって) 新しいマッシュアップを作成することは禁止されています。PTC の SCO Solutions Standard Model の使用許諾基準は、アプリケーションが展開される Site ごとの料金が必要になります。さらに、特有の各アプリケーションにつき権利のあるユーザー数を超える場合には、各 SCO 登録ユーザーに対して料金が必要です。SCO Solutions Standard Model には、以下の表に示す機能/権利が付属されています。

SCO Solutions Premium Model - PTC の SCO Solutions Premium Model では、ThingWorx プラットフォームを使用してカスタムアプリケーションを作成し、Standard Model アプリケーションを拡張又はカスタマイズすることができます。PTC の SCO Solutions Premium Model のライセンスは、Custom Application を展開する Site ごとに料金が発生します。SCO Solutions Premium Model のユーザーは、Standard Model に加えて、2つの別のアプリケーションとして購入する必要があります。SCO Solutions Premium Model には、以下の表に示す機能/権利が付属しています。

SCO Solutions Enterprise Model (ソリューションエンタープライズモデル) - PTC の SCO Solutions Enterprise Model では、お客様は購入時に利用可能なすべての ThingWorx 標準アプリケーション (すなわち DPM、AMU、CWC、RTPPM) に特定の Site でアクセスし、ThingWorx を使用して SCO 目的の Custom Application をその Site において開発することができます。PTC の SCO Solutions Enterprise Model のライセンスは、アプリケーションを展開する Site ごとに料金が発生します。SCO Solutions Enterprise Model のユーザーは、Site の Custom Application を含むすべてのアプリケーションにアクセスすることができます。複数の Site を購入する場合、ユーザーはどの Site にも割り当てることができます。SCO Solutions Enterprise Model には、以下の表に示す機能/権利が付属しています。

SCO Solutions Custom Enterprise Model - PTC の SCO Solutions Custom Enterprise Model は、お客様が ThingWorx を使用して、当該 Site において SCO 目的の Custom Application を開発することを許可します。SCO Solutions Custom Enterprise Model には、PTC Standard Model アプリケーションへのアクセスは含まれません。PTC の SCO Solutions Custom Enterprise Model の使用許諾基準は、アプリケーションを展開する Site ごとに料金を支払うものです。SCO Solutions Custom Enterprise Model のユーザーは、Site 内のすべての Custom Application にアクセスすることができます。複数の Site を購入する場合は、どの Site にもユーザーを割り当てることができます。SCO Solutions Custom Enterprise Model には、以下の表で指定された権利が付属しています。

## ソリューションのスコープ

ThingWorx SCO ソリューションの SaaS サービスには、以下のものが含まれます。

- お客様が購入するコンフィグレーションごとに、以下で規定される数のユーザー
- SCO の定義されたユースケース内で、Kepware 又はその他のサポートされるエッジエージェント技術を介したアセットへの接続性
- 単一の専用本番インスタンス
- 下表で規定されるストレージ割り当て

## オフリングに関する基本事項

- ThingWorx SCO Solutions モデルは、下表に定めるとおり、Site ごとに付与される登録ユーザー数の使用権を伴う Site に基づくモデルを使用して、お客様の製品の製造に関連するお客様の内部製造システム、製造プロセス、及び／又は製造作業に接続しモニタリングするために、IoT プラットフォーム及びソリューションのライセンスを取得することを可能にします。
- お客様は、遠隔 Asset のすべてのコンフィグレーション及びメンテナンスに責任を負います。PTC は、エッジ上のいかなるデバイスについてもサポートを提供しません。
- お客様は、接続されるすべてのアセットについて、少なくとも TLS 1.2 に相当する SSL セキュリティレベルで通信する状態を維持しなければなりません。
  - アセットが規定のレベルに達していない場合、資産をサービスに接続するには、お客様が書面によって PTC の承諾を得る必要があります。
  - PTC は、セキュリティレベルの最小要件を満たしていない通信を切断又はブロックする権利を留保します。
  - PTC は、アセットが接続する可能性のある最小セキュリティ SSL TLS レベルを上げる権利を留保します。
- サービスに含まれる以下の事項については、お客様が許容量を超えた場合、見積書／製品スケジュールで規定される超過料金をお支払いいただきます。
  - 登録ユーザー
  - データ／ストレージ

## Legacy SCO SaaS のライセンスプロファイル及び許容されるコンフィグレーション

### ライセンスプロファイル

ThingWorx SCO Solutions SaaS オフリングは、以下のコンフィグレーションで特定される登録ユーザー及び／又はユーザーズ単位で、以下のソリューションの使用権が付与されます。

### コンフィグレーション

	SCO Standard (DPM, AMU, CWC, RTPPM)	SCO Solutions Premium Edition	SCO Solutions Enterprise Edition	SCO Solutions Custom Enterprise Edition
SCO 登録ユーザー (1)	アプリケーションごとに 25	0	Site あたり 100	Site あたり 100
Custom Application の作成	N/A	無制限	無制限	
ThingWorx Foundation	同梱			
ThingWorx Analytics	N/A	同梱 (32 コア)		

ThingWorx Apps (DPM, AMU, CWC, RTPPM)	購入したアプリ 1 つにつき 1 アクセス (1Site につき 1 アクセス)	N/A	All apps 同梱 (サイト毎)	アドオン
ThingWorx Building Blocks	アプリの要求に応じて	同梱		
ThingWorx Software Content Management	1			
ThingWorx Active-Active Clustering	アドオン			
ThingWorx IoT Streams	アドオン			
Technical Support	Gold+			

1. 追加の登録ユーザーをアラカルトで購入することができます。
2. SCO ソリューションの提供する本番環境は、購入 Site 数にかかわらず 1 つだけ含まれます。本番環境はアラカルトで追加購入できます。また、導入作業、アップグレード及びその他の作業の検証を目的として、お客様は 1 つの非本番環境を購入する必要があります。

#### 追加インスタンス – 本番

追加の本番インスタンスを単体で購入して、複数の製造 Site 又は地域をサポートするために使用できます。これらのインスタンスに追加の登録ユーザーは含まれず、標準の使用権で規定されている上記の使用権が付与されます。これにより、お客様は、本番インスタンスの使用権が付与され、PTC サービスレベル契約 (SLA)、及び一般契約条件に記載のその他の条件が適用されます。お客様は、単一の本番インスタンスに登録ユーザーを割り当てることができます。追加の本番インスタンスの規模は、その特定のインスタンスに割り当てられるユーザーの数及びアプリケーション全体のパフォーマンス要件に基づいて決定されます。

#### 追加インスタンス – 非本番

追加の非本番（開発、品質保証及び統合）インスタンスは、別途購入できます。これらのインスタンスには登録ユーザーの数に制限はありませんが、最大 5 台までの機械を対象とした機能開発およびテストをサポートすることを目的として設計されています。ストレージは追加で購入できます。

#### 追加のデータベース

これは、お客様が別途購入することで本番及び非本番のデータベースの使用権が付与されます。お客様は、テストと妥当性確認のための非本番及び本番インスタンスを確保するために、それぞれ少なくとも 1 つのデータベースを購入する必要があります。サイジング（CPU コアによって定義）及びストレージは、見積書／製品スケジュールで規定されます。構成されたデータベースは、一般契約条件に規定された条件に基づくものとし、本番用の個別の SLA はありません。お客

様の実装において、お客様のシステムのパフォーマンスに悪影響を与える異例の使用方法は、追加料金がかかる場合があります。

### ThingWorx High Availability

ThingWorx High Availability は、互換性のある SCO Solutions 環境へのアドオンとして利用できます。お客様の本番システムを、ThingWorx 9.0 以降のバージョンに実装されているアクティブ/アクティブ構成のクラスタを使用するように設定することが可能になります。見積書/製品スケジュールで別途規定のない限り、SLA はこの使用権によって変更されません。

### ThingWorx IoT Streams

ThingWorx SCO IoT Streams – SaaS オファリングは、ThingWorx プラットフォームから、コールドストレージ、データレイク、ビジネスインテリジェンス (BI) プラットフォーム、その他の第三者リポジトリなどの外部システムへデータをストリーミングすることを可能にします。

本機能は、製造オペレーション全体にわたる分析、コンプライアンス対応および長期保存のユースケースに向けて、スケラブルでクラウドネイティブなデータオフロードをサポートします。

本機能は、ThingWorx プラットフォームからデータを外部にストリーミングする機能を提供するものであり、SaaS サービスの一部として PTC により管理されます。

IoT Streams は Site 単位で使用許諾されます。ライセンスを取得した各 Site には、1 秒あたり 2,500 件の Writes Per Second (1 秒あたりの書き込み操作数) の使用権が付与されます。ここで「Write Per Second」とは、ThingWorx プラットフォームから IoT Streams に対して単一のデータプロパティが送信される 1 回の書き込みを意味します。この使用権は 1 か月間の平均値として算出され、データ送信量の変動やバースト的な利用を考慮するものとします。

#### 累積書き込みプール (Cumulative Write Pool)

Writes Per Second の使用権は、購入したすべての Site 間で累積されます。お客様は、使用権を特定の本番サーバーに割り当てる必要はありません。例えば、お客様が IoT Streams を 10 Site 分購入した場合、合計 25,000 Writes Per Second の使用権が付与され、当該累積使用権の範囲内であれば、任意の数の本番サーバーに分配して使用することができます。

#### コンシューマーの使用権 (Consumer Entitlement)

お客様には、ライセンスされた Site 数にかかわらず、同時に最大 3 つのコンシューマーを利用する使用権が付与されます。「コンシューマー」とは、ThingWorx プラットフォームからストリーミングされたデータを受信する第三者システム又はエンドポイントをいい、コールドストレージシステム、データレイク、BI プラットフォーム、その他の外部リポジトリなどが含まれます。追加のコンシューマーは別途購入することができます。

#### Durable Queues

お客様は、IoT Streams SaaS ライセンスの一部として、Durable Queues 機能を利用することができます。Durable Queues は、ファイルベースのキューイング機構を用いて、エッジデバイスから ThingWorx プラットフォームへデータを耐障害性のある方法で取り込むことを可能にします。Durable Queues を通じて処理され、その後 IoT Streams を介してストリーミングされたすべてのデータは、お客様の Writes Per Second の使用権に算入されます。

## 制限事項 (Restrictions)

- Writes Per Second は、すべての Site を通算した月間平均値として算出されます。
- すべての本番サーバーにおける Writes Per Second の合計は、累積使用権を超えてはなりません。
- お客様あたり 3 つのコンシューマーのみが含まれ、追加のエンドポイントについては別途ライセンスが必要となります。
- Durable Queues の利用は、Writes Per Second の使用量に算入されます。
- 有効な IoT Streams ライセンスでカバーされていない Site からのデータのストリーミングは許可されません。

## データ及びデバイス

### データストレージの権利

お客様には、サブスクリプションを購入した ThingWorx のエディションに基づいて、本項で詳述するさまざまなレベルのストレージの使用権が付与されます。また、1 GB 単位で追加ストレージを購入できます。お客様が使用権を付与されるストレージは全量が ThingWorx 本番環境用であり、ThingWorx ファイルシステム及び ThingWorx データベースの両方（別途規定のない限り、すべての ThingWorx コンポーネントが含まれます。）に存在するお客様のすべてのデータのストレージ総量によって決まります。

以下の表に、ストレージの使用権の詳細を示します。

ThingWorx のエディション	基本ストレージ	追加のストレージ使用権
ThingWorx SCO Solutions Standard	325GB	アプリごとに 100GB
ThingWorx SCO Solutions Premium	325GB	Site ごとに 100GB
ThingWorx SCO Solutions Enterprise	1325GB	Site ごとに 100GB
ThingWorx SCO Solutions Custom Enterprise	1325GB	Site ごとに 100GB
ThingWorx Non-Production Environment	100GB	なし

\*\*\*\*\*

### ThingWorx Machine Builder:

ThingWorx Machine Builder Service Bundle により、お客様は、お客様の製品の接続および IoT アプリケーションの作成・実行のために、ThingWorx SCP SaaS Service、ThingWorx Kepware Edge for SaaS、ならびにその他のバンドルされた機能を使用することができます。

ThingWorx Machine Builder Bundle の標準の使用権：

	MBB ティア 1	MBB ティア 2	MBB ティア 3	MBB ティア 4
Assets with ThingWorx Kepware Edge - SCP Connectivity (1)	25	250	1000	2000
SCP 登録ユーザー (同梱)	5	5	5	5
SCP ビュー専用ユーザー (同梱)	同梱	同梱	同梱	同梱
ThingWorx Foundation	同梱	同梱	同梱	同梱

<b>ThingWorx Analytics (2)</b>	同梱なし	同梱なし	同梱なし	同梱なし
ソフトウェアコンテンツ管理	同梱なし	同梱なし	同梱なし	同梱なし
<b>ThingWorx Kepware Edge For SaaS</b> (指定コンピューターあたり最大 1,500 タグ)	25	250	1000	2000
<b>Technical Support</b>	Gold+			

1. SCP/Machine Builder Bundle モデルに含まれる Kepware の権利は、ThingWorx SCP/MBB ソリューションでの使用に限定され、ThingWorx との接続のみを提供します。SCO ソリューション モデルに含まれる Kepware ソフトウェアを単体で使用することはできません。お客様は、他の用途のためにエンタプライズ Kepware 接続パッケージを購入することができます。
2. お客様が付属の ThingWorx Analytics コアの計算能力を超えた場合、お客様は、計算機能を提供するコンポーネントを実行しているインスタンスにおいて、追加の計算能力のために追加のコアライセンスを購入できます。